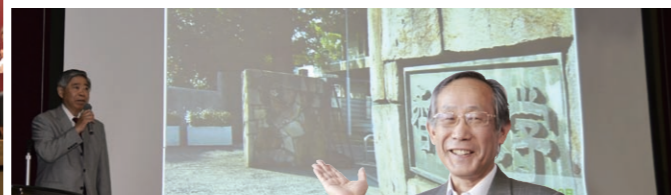




サテライトオフィスは
高松市、大阪市に加え、
今年3つがオープンし、
県内外合わせて
5カ所になります。

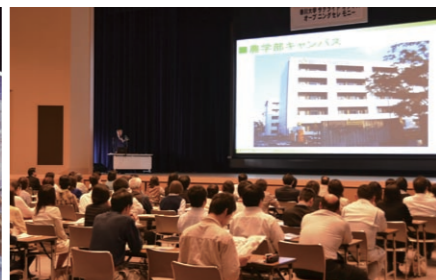
香川大学 サテライトオフィス 検索
<http://www.kagawa-u.ac.jp/research/regional/>



三豊市のサテライトオフィスは、医療や教育に関する講義、
デッサンの実習や音楽会などが行われます。

三豊市 サテライトオフィス

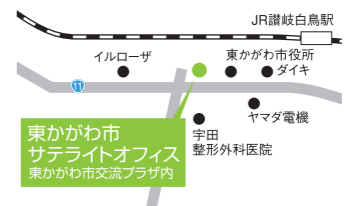
三豊市豊中町農村環境改善センター内(香川県三豊市豊中町本山甲160-1)



東かがわ市のサテライトオフィスでは、医療系の講義や
ビジネススクールの公開講座が開催されました。

東かがわ市 サテライトオフィス

東かがわ市交流プラザ内(香川県東かがわ市湊1806-2)



ナビゲーター
板野 俊文

PROFILE
いたの としふみ
香川大学 理事(総務・研究担当)
研究推進機構長
インターナショナルオフィス長

今年5月に、三豊市、東かがわ市でオープンし、
9月には坂出市にもお目見えする
香川大学サテライトオフィス。
地域の方々の交流を図るため、
キャンパスを飛び出し、講義やイベントなど、
盛りだくさんの内容で行っています。

まずは、サテライトオフィスの意義や役割を覚えて
ください。

サテライトオフィスは、

- ① 教育・研究成果、学生活動等の成果を発表する場
- ② 地域の方々の顔の見える交流の場
- ③ 地域の方々の生涯学習活動を支援する場
として開設されました。

現在、香川大学は「地域に根ざした大学」を目指し
て、様々な取り組みを計画しています。サテライト
オフィスもそのひとつとして、広く一般の方々
に、香川大学は何をしているのか、どんな情報を持ち提供
していけるのかをお伝えする場となっています。
今までも、高松市の商店街復興対策の一環として、
主に若者が集うミッド・プラザがありました。さらに、
地域も年齢層も幅広く集っていたために、東中西
にもサテライトオフィスを開くことになったのです。
地域の方からは、どんな反応が?

3市とも、計画段階から歓迎してくださいました。
また、三豊市のオープニングセミナーには160人、

生活習慣病のセミナーにも70〜100人が来てくだ
さり、盛況です。

みなさん、知識欲が旺盛なのですね。
勉強したい、新しい知識を得たい、という方が多い
のには驚かされます。

板野理事も、講義をされています。

東かがわ市で、IPS細胞がどのように発見され、
どう使われていくかを、お話ししました。みなさん、
非常に熱心に聞いてくださり、「よく分かった」と
言っていただけ嬉しかったです。
他には、今までにどんなセミナーが行われましたか。
また、今後行うセミナーの予定は。

医療・経済分野のセミナー、ビジネススクールなどの
講義。また、デッサン講座、子どもと保護者が聴ける
音楽会、瀬戸内海に船で出て子どもたちに海の生物
を紹介する教室など、イベントも行う予定です。セミ
ナー参加者には、各学部で研究しているどんな分野
に興味があるか、アンケートを取っています。今後は
その結果に基づき、地域の方々が本当に求めている
講座を、より多く行っていきますね。

9月には、坂出もオープンします。
坂出は、ミッションのひとつとして、ミッド・プラザと
同じ商店街の活性化があります。また、高校が多い地域
なので、高校生に香川大学に興味を持ってもらうための
サテライトキャンパスという意義もあります。今、全国
的にも、高大(高校・大学)連携が進みつつあるので、
よりよい関係ができるような仕組みを考えています。
学生や先生方にとっても、意味のある場所になり
そうですね。

街に出て社会の方々ときあう事は、学生にとって、
とても大切です。将来、大学で学んだ分野で街づくりに
携わる際の、フィールドワークにもなります。教員には、
大学の持つ知的財産をどのように地域の方と共有し、
活かしていくかを考えるための、参考になります。
香川大学と地域の連携推進のシンボルとして、
時間をかけて育てていきたいと思えます。